

次の10年で何に注目すべきか？どんな挑戦をするべきか？

基本政策	分野	何に注目すべきか？	どんな挑戦をするべきか？		中野に必要な変化 (政策の方向性を検討するための整理)
			私達（民間）	行政	
1	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代 ・子育て環境の充実感 ・出生数 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が楽しめる場所やコンテンツをつくる ・子どもを産む ・子どもの中野らしい体験を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実 (子ども・若者への積極的な投資) 	(意見は多いが、新たな政策の方向性につながる話題は出ていない)
	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの教育 ・学校の充実 (新しい教育への対応) ・学校の選択肢の充実 (高等教育機関等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体的な学びに協力する ・フリースクールの運営 ・子育てしやすい職場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援 ・中高一貫校、大学の誘致 ・箱ものよりもコンテンツを充実 (オンラインでの多様な学びなど) ・ネット環境やツール整備等、様々な学び方ができる環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある教育環境や、中野の子ども達が地域に残りやすい教育環境に関するニーズがあると考えられる ・ICT技術を活用した新しい学びへの対応に関するニーズがあると考えられる
2	健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル技術の発達による暮らしの変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の安らぎを確保できるコミュニティの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者サポートの充実（課の新設など） 	(意見は少なく、優先度は低いと考えられる)
3	産業	〈共通〉 <ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地の積極的活用 ●域内消費 ・持続可能な産業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップをつくる・活用する ・魅力的な店づくり、商品づくり ⇨なるべく市内で消費する ⇨市内消費のきっかけづくり（イベントなど） ⇨中心市街地に行く 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内消費を促進する仕組みづくり (循環型社会に関する消費者の意識啓発) ・中野の特産品のプロモーション・ブランディング 地域資源（農産物・歴史・文化）を活かす産業振興 ・市外から中心市街地に人が集まる仕掛けづくり ・起業支援（特に、地域資源を活用する起業を支援） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の空き店舗を活用したチャレンジショップ等の活動を促進していくことが重要 ・上記取組と連動させながら、中心市街地を訪れる仕掛けづくりや域内消費を促進していくことが求められる
		<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル技術の発達による産業の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化による生産性向上支援 	
		〈農業〉 <ul style="list-style-type: none"> ●新しい担い手の定着 ●「農」に対する市民の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・農家と交流する場をつくる (農業を始める人、始めた人の応援・サポート) ・市民の「農」への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の生産基盤を整える ・食料自給率を高める ・市民が「農」へ参加する場をつくる ・遊休農地の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を維持するために、農業者が新しい担い手と積極的に交流し・サポートするような場に関するニーズがあると考えられる ・空き家活用等と絡めながら、上記の場をつくっていくことも考えられる
	〈観光・交流〉 <ul style="list-style-type: none"> ●人が集まる魅力的スポットづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な地域資源の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> ・中野市を代表する新スポット・観光名所づくり 	(意見は少なく、優先度は低いと考えられる)	
	雇用	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用の場 ・雇用数 ・働きやすさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者を雇用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長分野の企業誘致 ・働き方改革 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致に関するニーズがあると考えられる ・中心市街地の空き店舗活用等と絡めながら、事務所スペースを提供していくことも考えられる
4	文化・生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ●副業、プロボノ、余暇活動 ・人口は減り、健康寿命は延びる 1人ひとりが輝けるように 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなことに挑戦する、学び続ける ・地域資源を活用しながら実践的に学ぶ ・ビジョンを持って働く（SDGs等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも学べる場づくり ・実践的な学びのコーディネート (学校、商工会等とも連携) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習を広義に解釈した「人生100年時代の学び直し」のような学習環境が求められている ・知識やコミュニティを充実させながら、1人ひとりの市民の挑戦を促進していくことが重要

ワークショップのまとめ②（中野市に必要な変化のまとめ）

基本政策	分野	何に注目するべきか？	どんな挑戦をするべきか？		中野に必要な変化 (政策の方向性を検討するための整理)
			私達（民間）	行政	
5	防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ●危機管理体制 ●命やインフラ・地域資源を守る ●レジリエントな地域（災害など） 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害が起きそうな場所の把握 ●各地域や企業と連携した防災・減災の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民や企業と連携した防災・減災の取組 	(意見は少なく、優先度は低いと考えられる)
	循環型社会	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能性 ●カーボンニュートラル（今が岐路） 	<ul style="list-style-type: none"> ●脱炭素に取り組む (再生可能エネルギーの利用、車に頼らず歩くなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ●民間と連携して循環型社会をつくる ●エネルギーの地産地消 ●SDGs未来都市に手を挙げる ●情報発信、意識啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後、重要度が増していくことが想定される。特に、産業・都市インフラ等の分野で対応が必要になると考えられる
6	協働	<ul style="list-style-type: none"> ●担い手 ●若者・女性の活躍 ●関係人口の巻き込み ●企業（官民連携） ●インナープロモーション（まちづくりの一体感） 	<ul style="list-style-type: none"> ●やりたいことへの挑戦、多様な活動（食・遊び・文化交流など） (自分たちでできることは自分たちでやる) ●空き家、空き店舗、空きスペース、廃校の活用 ●クラウドファンディングの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●場づくり、活動支援 ●イベント等での連携 ●市民の声を市政に反映 <p>●まちづくりのビジョンや価値観を市民と共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の空き家・空き店舗活用に挑戦したいという市民感覚を、中心市街地の活性化や、暮らしの満足度を高めるコミュニティづくりに上手につなげていくことが求められる ●まちづくりのビジョンや価値観を市民と共有することで、活動しやすい環境をつくることが重要
	行政経営	<ul style="list-style-type: none"> ●行政サービス 		<ul style="list-style-type: none"> ●新しい技術の活用 ●成果測定の仕組み、無駄の排除、業務の効率化等 	(市が独自に進めればよい分野)
-	暮らし・共生社会	<ul style="list-style-type: none"> ●中野での暮らし、ライフスタイル ●外国人との共生 ●市民の国際交流 	<ul style="list-style-type: none"> ●中野の良さを再発見する ●子どもに中野の良さを伝える ●外国人への理解、交流、雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な暮らし・ライフスタイルが共存するまちづくり ●外国人との交流の場づくり ●語学力の向上支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人との交流や語学力の獲得に関するニーズがあると考えられる
	移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> ●住んでみたいと思ふまち ●帰りたいと思ふまち ●社会増減 ●シティプロモーション 	<ul style="list-style-type: none"> ●移住者への声かけ・サポート ●市民目線の情報を発信する <p>●まちの魅力を発信</p> <p>●地方でも活躍できる姿の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●住みやすいまちづくり ●中野の良さ・強みを発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●空き店舗や遊休農地等を活用して挑戦したい人、中野市のコミュニティが好きな人を増やしていくことが重要 ●中野市で、自己実現している市民と連携しながら、中野市の魅力を発信していくことは有効

第2次総合計画
の政策体系

ワークショップの
結果

太字：意見が多い
細字：意見が少ない

黒字：現在の視点からの意見
橙字：未来の視点からの意見
赤字：現在・未来の両方が出た意見

中野に必要な変化

子育て環境の充実
特色ある教育づくり
→住みたいまち・
住み続けたいまちへ

副業、余暇活動の充実
空き店舗、廃校等の活用
→夢を叶えられるまちへ

中野の良さ・強みの発信
域内消費・雇用の拡大
→良いものが育つまちへ

総合計画での重点化を検討しています

A
**未来を切り拓く
子ども・若者が育つ中野**
(子育て・教育、交流、移住)

B
**市民がチャレンジ
しやすい中野**
(生涯学習、起業、協働)

C
**地域の産業や活動が
大きく輝く中野**
(産業・雇用、健康・福祉)

＜ワークショップの開催状況（6月24日～11月25日まで全5回開催） ※8月下旬から10月まではコロナの感染拡大により開催を延期＞

回数	日時	参加者数	各回テーマ
第1回	6月24日（木）18時30分～20時30分	23人	総合計画の役割と市民参加の可能性を学ぼう！
第2回	7月14日（水）18時30分～20時30分	31人	中野市に必要な変化を考えよう！（現代から編）
第3回	8月5日（木）18時30分～20時30分	29人	中野市に必要な変化を考えよう！（未来から編）
第4回	11月9日（火）18時30分～20時30分	21人	まちづくりのアイデアを具体的に企画する！
第5回	11月25日（木）18時30分～20時30分	23人	最初の一步の踏み出し方を考える！
計(全5回)		127人	